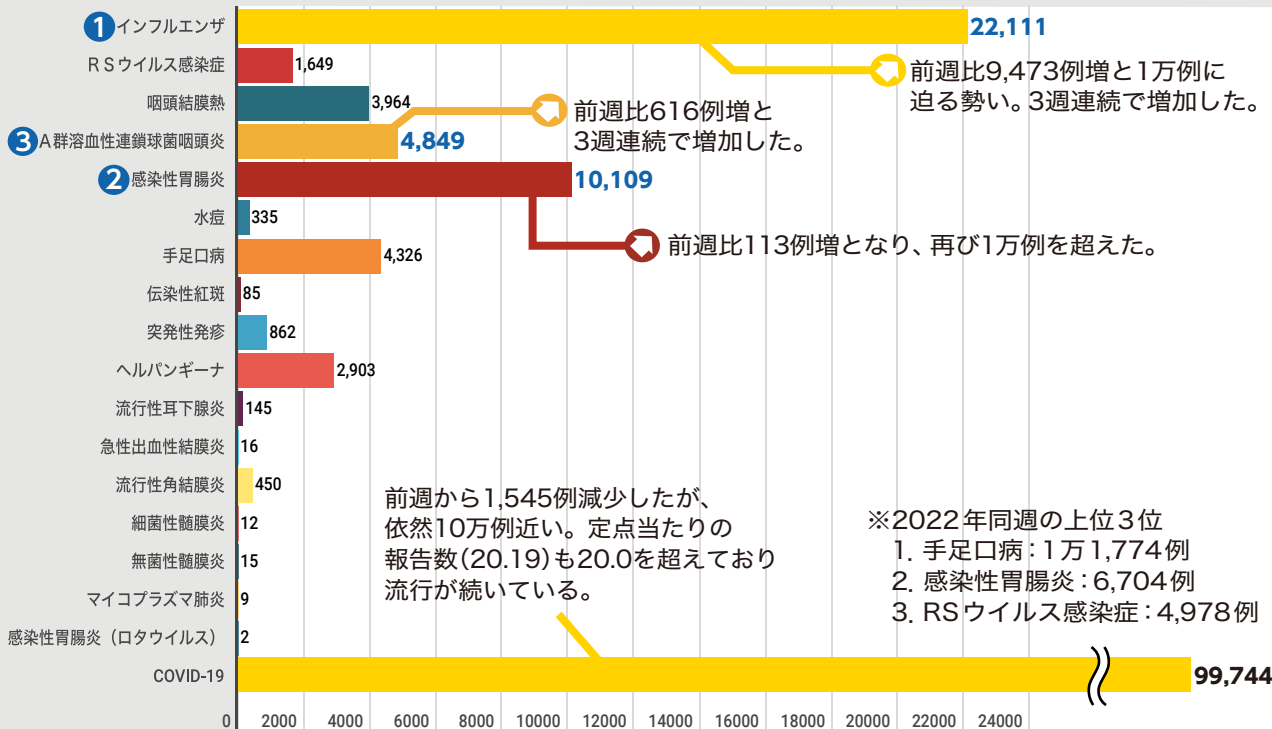


国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル、コロナで学級閉鎖相次ぐ

丸数字は上位3位



(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

- 東京都: 2,481例
- 神奈川県: 1,969例
- 千葉県: 1,751例

定点当たりの報告数(4.48)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 沖縄県: 13.43 | 4. 福岡県: 7.56 | 7. 徳島県: 6.86 | 10. 東京都: 5.95 |
| 2. 長崎県: 8.80 | 5. 宮城県: 7.34 | 8. 佐賀県: 6.16 | 11. 埼玉県: 5.94 |
| 3. 千葉県: 8.58 | 6. 山口県: 7.00 | 9. 宮崎県: 6.14 | 12. 熊本県: 5.64 |

②感染性胃腸炎

報告数

- 東京都: 964例
- 埼玉県: 700例
- 神奈川県: 631例

定点当たりの報告数(3.22)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 8.08 | 4. 石川県: 5.07 | 7. 埼玉県: 4.27 | 10. 岩手県: 4.03 |
| 2. 熊本県: 5.82 | 5. 香川県: 4.75 | 8. 群馬県: 4.06 | 11. 兵庫県: 3.98 |
| 3. 宮崎県: 5.22 | 6. 福岡県: 4.58 | 8. 愛媛県: 4.05 | 12. 山梨県: 3.88 |

③A群溶血性連鎖球菌咽頭炎

報告数

- 大阪府: 497例
- 東京都: 441例
- 福岡県: 381例

定点当たりの報告数(1.54)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鳥取県: 3.89 | 4. 宮崎県: 2.64 | 7. 長崎県: 2.23 | 9. 佐賀県: 1.96 |
| 2. 富山県: 3.34 | 5. 大阪府: 2.54 | 8. 広島県: 2.08 | 11. 茨城県: 1.87 |
| 3. 福岡県: 3.18 | 6. 奈良県: 2.32 | 9. 埼玉県: 2.07 | 12. 京都府: 1.84 |

今週の感染症動向

インフルエンザは先週から1万例近く増加し、第13週(3月27日~4月2日、2万13例)以来、5カ月ぶりに2万例台を超えた。定点当たりの報告数は沖縄県が13.43と注意報基準値(10.0)を超え、夏季では4年ぶりにインフルエンザ注意報が発令された。A群溶連球菌咽頭炎は3週連続で増加し5,000例に迫り、感染性胃腸炎も同じく増加し1万例を超えた。咽頭結膜熱の定当は大阪府で3.92、福岡県で3.72と警報基準値(3.00)を超えており、手足口病も佐賀県で5.48と警報基準値(5.00)を超えた。

COVID-19は微減も、いまだ10万例近い。定当30.0超えは宮城県(32.47)のみだったが、東北地方や中部地方を中心に20.0を超える地域は21県と、前週と同水準にある。夏休みが明け、インフルエンザやCOVID-19による学年・学級閉鎖が相次いでおり、感染対策の重要性が高まっている。